非木造建物調査積算要領(抄)(新旧対照表)

(下線の部分は改正部分)

(非木造建物の区分)

第3条 (略)

2 (略)

3 非木造建物 [Ⅱ] の調査については、次条、第5条及び第6条の規定を準用して行うほか、推定再建築費の積算が可能となるよう行うものとし、積算については、<u>別添2非木造建物数量計測</u>基準の I 総則6に規定する別表の統計数量値及び別添3非木造建物工事内訳明細書式の6に規定する別記非木造建物補償諸率表は適用しないものとし、第3章の規定を準用した積み上げによるか、又は専門メーカー等の見積を徴することにより行うものとする。

īF.

(調査)

第4条 非木造建物の調査は、現地において当該建物の位置、用途、構造、建築工法、規模、仕様、 規格、経過年数、管理状況等建築費が算出できるようにするための調査を行うものとする。

(内訳書の表示)

第14条 積算結果を表示する内訳書は、工事内訳明細書式によるものとする。

改

(非木造建物の区分)

第3条 (略)

2 (略)

3 非木造建物 [Ⅱ] の調査については、次条、第5条及び第6条の規定を準用して行うほか、推定再建築費用の積算が可能となるよう行うものとし、積算については、<u>別添2非木造建物数量計</u> <u>測基準Ⅰ第5号</u>に規定する別表の統計数量値及び別添3非木造建物工事内訳明細書式の6に規定する別記非木造建物補償諸率表は適用しないものとし、第3章の規定を準用した積み上げによるか、又は専門メーカー等の見積を徴することにより行うものとする。

行

現

(調査)

第4条 非木造建物の調査は、現地において当該建物の位置、用途、構造、規模、仕様、規格、経 過年数、管理状況等建築費が算出できるようにするための調査を行うものとする。

(内訳書の表示)

第14条 積算結果を表示する内訳書は、別添3非木造建物工事内訳明細書式によるものとする。

┃別添1 非木造建物図面作成基準

(別表)

図 面 名	縮尺	作成の標準	備考
配置図		配置図は、次により作成するものとする。 一 建物等の所有者 (同族法人及び親子を含む。)を単位として、次の区作成する。 二 縮尺は、原則として、次の区分に対して、次の区分に対して、次の区分に対して、次の区分に対して、次の区分に対して、次の区分に対して、次の区分に対して、原則として、次の区分に対して、方に対して、方に対して、方に対して、方に対して、方に対して、方に対して、方に対して、方に対して、方に対して、方に対して、方に対して、方に対して、方に対して、方に対して、方に対して、方に対して、方に対して、方に対して、方に対して、方に対して、方に対して、方に対して、方に対して、方に対して、方に対して、方に対して、方に対して、方に対して、方に対して、方に対して、方に対して、方に対して、方に対して、方に対して、方に対して、方に対して、方に対して、方に対して、方に対して、方に対して、方に対して、方に対して、方に対して、方に対して、方に対して、方に対して、方に対して、方に対して、方に対して、方に対して、方に対して、方に対して、方に対して、方に対して、方に対して、方に対して、方に対して、方に対して、方に対して、方に対して、方に対して、方に対して、方に対して、方に対して、方に対して、方に対して、方に対して、方に対して、方に対して、方に対して、方に対して、方に対して、方に対して、方に対して、方に対して、方に対して、方に対して、方に対して、方に対して、方に対して、方に対して、方に対して、方に対して、方に対して、方に対して、方に対して、方に対して、方に対して、方に対して、方に対して、方に対して、方に対して、方に対して、方に対して、方に対して、方に対して、方に対して、方に対して、方に対して、方に対して、方に対して、方に対して、方に対して、方に対して、方に対して、方に対して、方に対して、方に対して、方に対して、方に対して、方に対して、方に対して、方に対して、方に対して、方に対して、方に対して、方に対して、方に対して、方に対して、方に対して、方に対して、方に対して、方に対して、方に対して、方に対しが対しが対しが対しが対しが対しが対しが対しが対しが対しが対しが対しが対しが対	

別添 1 非木造建物図面作成基準

(別表)

配置図は、次により作成するものとする。
(6) 建物处、外面值

面 図	1/50 ~1/100	(1) 平面図は、建物及び各階(R階を含む)ごとに作成する。 (2) 建物の方位は、原則として、図面の上方を北の方位とし、図面右上部に記入する。 (3) 建物の面積計算に必要な部分及び借家人の占有面積、店舗等の用途区分に応じて高速でで、原則として、図面の左下側に記入する。 (4) 建物の面積計算は、各階の床面積ごとに行い、原則として、図面の左下側に記入する。 (5) 変形建物等で通常な場合には、当該部分の再積についてが、原則として、図面のを下側に記入する。 (6) 店舗、事務所、工分の配積については、別途必算を行う。 (6) 店舗、事務が占が表表を用いてまからのみの計算を行う。 (7) 各室の仕上げは、次表を用いて表示する。 室名 壁 床 天井 (8) 建具については、その位置を表示する。ただし、別に建具表(図面)を作成することがある。 (9) 外壁仕上げは、特に必要な場合はその名称を記入する。 (10) 当該建物に用地取得等の予定線が掛かる場合は、赤色の実線で表示する。	平面		(1) 平面図は、建物及び各階(R階を含む)ごとに作成する。 (2) 建物の方位は、原則として、図面の上方を北の方位とし、図面右上部に記入する。 (3) 建物の面積計算に必要な部分及び借家人の占有面積、店舗等の用途区分に応じて主要間仕切りに対法線を記入する。 (4) 建物の面積計算は、各階の床面積ごとに行い、原則として、図面の左下側に記入する。 (5) 変形建物等の面積計算によりの一部である。 (5) 変形建物が困難計算を行う。 (6) 店舗、事務所、工場の面積については、別の計算を行う。 (7) 各室の仕上げは、次表を用いて表示する。 室名 壁床 天井 (8) 建具については、その位置を表示する。ただし、別にがあるのとが表示する。 (9) 外壁仕上げは、特に必要な場合は、赤色の実線が掛かる場合は、赤色の実線で表示する。
構造詳細図			構造詳細図		
(断面図)	1/50 ~1/100	1 面程度、地盤(GL)・最高高さ ・軒高・階高・天井高・床高	(断面图	1/50 ~1/100	1 面程度、地盤 (GL)・最高高さ ・軒高・階高・天井高・床高
(杭地業想定設計図)	1/20 ~1/100	杭伏図 杭配置・杭種・杭寸法	(杭地業想定設計)	☑) 1/20 ~1/100	杭伏図 杭配置・杭種・杭寸法

平 面 図	1/50 ~1/100	(1) 平面図は、定数では、できない。 (2) 建物の方位は、原用位とし、図面右上の方位は、原用位とし、図面右上部に正積に必要な部分及の用途区分にをできた。 (3) 建物の方位は、原用位とし、図面右上部に直積に必要な話計算に必要な話が、のの用途では、のの用途では、のの形違ができたで側にでので、 (4) 建積では、こので、 (5) 変形りのの形違がののののののののののののののののののののののののののののののののの	
構造詳細図			
(断 面 図)	1/50 ~1/100	1面程度、地盤(GL)・最高高さ ・軒高・階高・天井高・床高	
(杭地業想定設計図)	1/20 ~1/100	杭伏図 杭配置・杭種・杭寸法	

(根切想定設	計図)	1/20 ~1/100	①根切平面図 ②根切断面図	統計数量値を使用して算定を行う場合には作成する必要はない(数量計測基準Ⅲ 建築(土工)3参照)
(上部く体現化	大図)	1/20 ~1/100	柱・梁・床版・壁・階段・土間コンクリート・その他の図面 ①柱・梁・床版・壁伏図(配置) ②柱・梁・床版・壁断面図 (形状・寸法)	土間コンクリートを 除き、統計数量値を 使用して算定を行う 場合には作成する必 要はない(数量計測 基準 V 建築(く体) 参照)
立面図他				
(立 面	図)	1/50 ~1/100	外観各面の立面図 各外面の仕上、開口部の位置	
(写真撮影方	句図)	1/50 ~1/100	建物平面図等に写真方向を記載する	
(配 置	図)	1/100 ~1/250	①敷地形状・寸法、隣接道路・建物・施設等 ②当該建物等の位置・寸法・方位 ③補償に関係する計画道路・計画 施設等と当該建物及び敷地との 関係	
その他調査書	i			
(仕 上	表)		①外部仕上表(下地を含む) 屋上・外壁・外部天井・外部階段・庇・犬走り等場所別に表示 ②内部仕上表(下地を含む) 床・壁・幅木・天井・回り縁・ 内部階段・造付建具・機器類等 各階各室別に表示	
(面 積	表)		①敷地面積図・求積表 ②建物面積表 1) 建築面積 2) 各階床面積・同合計 3) 延べ床面積	建築面積、床面積、 延べ床面積は建築基 準法上の名称 測量の成果を利用可 能な場合①は作成不

(根切想定設計図)	1/20 ~1/100	①根切平面図 ②根切断面図	統計値を使用して算 定を行う場合には作 成する必要はない (数量計測基準Ⅲ建 築(土工)3参照)
(上部く体現伏図)	1/20 ~1/100	柱・梁・床版・壁・階段・土間コンクリート・その他の図面 ①柱・梁・床版・壁伏図(配置) ②柱・梁・床版・壁断面図 (形状・寸法)	土間コンクリートを 除き、 <u>統計値</u> を使用 して算定を行う場合 には作成する必要は ない(数量計測基準 V建築(く体)参照)
立面図他			
(立 面 図)	1/50 ~1/100	外観各面の立面図 各外面の仕上、開口部の位置	
(写真撮影方向図)	1/50 ~1/100	建物平面図等に写真方向を記載する	
(配置図)	$1/100$ $\sim 1/250$	①敷地形状・寸法、隣接道路・建物・施設等 ②当該建物等の位置・寸法・方位 ③補償に関係する計画道路・計画 施設等と当該建物及び敷地との 関係	
その他調査書			
(仕 上 表)		①外部仕上表(下地を含む) 屋上・外壁・外部天井・外部階 段・庇・犬走り等場所別に表示 ②内部仕上表(下地を含む) 床・壁・幅木・天井・回り縁・ 内部階段・造付建具・機器類等 各階各室別に表示	
(面 積 表)		①敷地面積図・求積表 ②建物面積表 1) 建築面積 2) 各階床面積・同合計 3) 延べ床面積	建築面積、床面積、 延べ床面積は建築基 準法上の名称 測量の成果を利用可 能な場合①は作成不

			要
(建 具 表)		①建具配置図(キープラン) ②建具表 建具番号・建具の名称・材質・ 姿図寸法・箇所数・建具枠・ガ ラス・塗装・建具金物・開口部 としての附合物(面格子・額縁 ・網戸)等のうち必要な事項	同種・同様の開口部 については寸法等の 表示のみによること ができる
建築設備			
(電気設備)			
器具一覧表			
器具配置図	1/50 ~1/100		建物平面図を利用して作成する
受変電設備図	1/50 ~1/100		建物平面図を利用して作成する
幹線系統図	1/50 ~1/100		建物平面図を利用して作成する
動力設備系統図	1/50 ~1/100		建物平面図を利用して作成する
(給排水衛生設備)			
器具一覧表			
器具配置図	1/50 ~1/100		建物平面図を利用して作成する
消火設備系統図	1/50 ~1/100		建物平面図を利用して作成する
汚水処理設備図	1/50 ~1/100		建物平面図を利用して作成する
(空気調和設備)			
器具一覧表			

			要
(建 具 表)		①建具配置図(キープラン) ②建具表 建具番号・建具の名称・材質・ 姿図寸法・箇所数・建具枠・ガ ラス・塗装・建具金物・開口部 としての附合物(面格子・額縁 ・網戸)等のうち必要な事項	同種・同様の開口部 については寸法等の 表示のみによること ができる
建築設備			
(電気設備)			
器具一覧表			
器具配置図	1/50 ~1/100		建物平面図を利用して作成する
受変電設備図	1/50 ~1/100		建物平面図を利用して作成する
幹線系統図	1/50 ~1/100		建物平面図を利用して作成する
動力設備系統図	1/50 ~1/100		建物平面図を利用して作成する
(給排水衛生設備)			
器具一覧表			
器具配置図	1/50 ~1/100		建物平面図を利用して作成する
消火設備系統図	1/50 ~1/100		建物平面図を利用して作成する
汚水処理設備図	1/50 ~1/100		建物平面図を利用して作成する
(空気調和設備)			
器具一覧表			

器具配置図	1/50 ~1/100	建物平面図を利用して作成する
(昇降設備)		
諸 元 表		
(その他設備)		必要に応じて作成する。

(注) -	その他積算に必要と	なる図面は上記以外の	ものであって	も適宜作成す	るものとする。
-------	-----------	------------	--------	--------	---------

器具配置図	1/50 ~1/100	建物平面図を利用し て作成する
(昇降設備)		
諸 元 表		
(その他設備)		必要に応じて作成する。

(注) その他積算に必要となる図面は上記以外のものであっても適宜作成するものとする。

I 総則

- 1 (略)
- 2 この基準において「数量」とは、原則として設計数量(設計寸法に基づく計算数量)をいう。 ただし計画数量(施工計画に基づく数量)又は所要数量(市場寸法による切り無駄及び施工上の やむを得ない掲耗などを含む予測数量)を必要とする場合は、この基準に基づいて計算する。
- 3 数量の計測及び計算にあたっては、ⅡからIXの規定によるものとする。ただし、○○○○(起業者が別途定める補償金算定標準書等を記入する。)に統計単価が存する場合は、統計単価の単位数量によるものとする。
- 4 数量を求める対象は、別添3非木造建物工事内訳明細書式において、数量の表示されている細目又はこれに準ずる細目を標準とする。

(削る)

<u>5</u> この基準において「設計寸法」とは、別添1非木造建物図面作成基準に基づいて作成した図面 等に表示された寸法及び表示された寸法から計算することのできる寸法をいう。

また、この基準において「図示の寸法」とは、図面について物指により読み取ることのできる 寸法を含むものとする。

<u>6</u> この基準において使用する統計数量値は、別表統計数量表に掲げるものとする。

Ⅱ 建築(直接仮設費)

- 1 軽量鉄骨造及び鉄鋼系プレハブ工法(軽量鉄骨造)の専用住宅又は共同住宅の直接仮設の数量 は、別表統計数量表より算出するものとする。
- 2 軽量鉄骨造及び鉄鋼系プレハブ工法(軽量鉄骨造)の専用住宅又は共同住宅以外の直接仮設の 数量は、図面により仮設計画を想定し、細目ごとに計画数量を算出する。算出方法は次を標準と する。

(1)~(11) (略)

Ⅲ 建築(土工)

 $1 \sim 2$ (略)

3 根切数量が<u>統計数量値</u>によりがたい場合、並びに根切及び砂利敷などを除く他の細目の数量は 次による。

(1)~(9) (略)

VI 建築(仕上)

- 1 (略)
- 2 仕上

「仕上」とは、く体又は準く体の保護、意匠、装飾その他の目的による材料、製品、器具類などの附合又はく体の表面の加工などをいう。ただし建築設備に属するものを除く。

(1) (略)

別添2 非木造建物数量計測基準

I 総則

1 (略)

(新設)

(新設)

- ② 数量を求める対象は、別添3非木造建物工事内訳明細書式において、数量の表示されている細 目又はこれに準ずる細目を標準とする。
- 3 この基準において「数量」とは、原則として設計数量(設計寸法に基づく計算数量)をいう。 ただし計画数量(施工計画に基づく数量)又は所要数量(市場寸法による切り無駄及び施工上の やむを得ない損耗などを含む予測数量)を必要とする場合は、この基準に基づいて計算する。
- 4 この基準において「設計寸法」とは、別添1非木造建物図面作成基準に基づいて作成した図面等に表示された寸法及び表示された寸法から計算することのできる寸法をいう。

また、この基準において「図示の寸法」とは、図面について物指により読み取ることのできる 寸法を含むものとする。

<u>5</u> この基準において使用する統計値は(別表)に掲げるものとする。

Ⅱ 建築(直接仮設費)

(新設)

直接仮設の数量は、図面により仮設計画を想定し、細目ごとに計画数量を算出する。算出方法は次を標準とする。

(1)~(11) (略)

Ⅲ 建築(土工)

 $1 \sim 2$ (略)

3 根切数量が<u>統計数値</u>によりがたい場合、並びに根切及び砂利敷などを除く他の細目の数量は次による。

 $(1) \sim (9)$ (略)

VI 建築(仕上)

- 1 (略)
- 2 仕上

「仕上」とは、く体又は準く体の保護、意匠、装飾その他の目的による材料、製品、器具類などの附合又はく体の表面の加工などをいう。ただし建築設備に属するものを除く。

(1) (略)

- (2) 仕上の計測、計算
- ① (略)
- ② 主仕上の計測、計算
- ア原則

(ア)~(ウ) (略)

(工) 専用住宅又は共同住宅に係る階段室の内壁施工面積は、木造建物数量積算基準第8第 2項と同様に、次表に掲げる面積を標準とする。

階段の形式	<u>内壁施工面積</u>	<u>備考</u>
<u>直階段</u> <u>廻り階段</u> <u>折返し階段</u>	<u>10.80 m²</u>	1階床より2階床までの面積

イ~エ (略)

(3) (略)

VII 電気設備

- 1 共通工事
- (1)~(2) (略)
- (3) 配管配線工事

(削る) ①~⑨ (略)

 $(4) \sim (7)$ (略)

- 2 各設備工事
- (1) 電灯設備

(削る)

①~④ (略)

(2)~(6) (略)

(7) 電話設備

(削る) (削る)

①~③ (略)

(8)~(9) (略)

VIII 電気設備以外の設備

- 1 共通工事
- (1)~(2) (略)

- (2) 仕上の計測、計算
- ① (略)
- ② 主仕上の計測、計算

ア原則

(ア)~(ウ) (略)

(新設)

イ~エ (略)

(3) (略)

VII 電気設備

- 1 共通工事
- $(1) \sim (2)$ (略)
- (3) 配管配線工事

統計単価によりがたい場合は次による。

①~⑨ (略)

- $(4) \sim (7)$ (略)
- 2 各設備工事
- (1) 電灯設備

電灯設備に関して○○○ (起業者が別途定める補償金算定標準書等を記入する。) による場合は、建物に設置されている電灯、スイッチ、コンセント、分電盤の器具ごとの規格 (コンセントは埋込、露出の別及び口数等、スイッチは埋込、露出の別及び連数、分電盤は回路数) 及び数量を算出する。なお、○○○ (起業者が別途定める補償金算定標準書等を記入する。) によりがたい場合は次による。

①~④ (略)

- (2)~(6) (略)
- (7) 電話設備

電話設備に関して統計単価による場合は、電話機設置箇所数量を計上する。 統計単価によりがたい場合は次による。

①~③ (略)

(8)~(9) (略)

VIII 電気設備以外の設備

- 1 共通工事
- (1) \sim (2) (略)

(3) 配管工事 (削る)

①~② (略)

(4)~(8) (略)

2 給排水衛生設備 (削る)

(削る)

(1)~(2) (略)

 $3 \sim 5$ (略)

(3) 配管工事

統計単価によりがたい場合は次による。

①~② (略)

(4) \sim (8) (略)

2 給排水衛生設備

給排水設備に関して統計単価による場合は、器具設置数量を計上する。

給排水設備の器具設置数量は、建物に設置されている水栓、水洗便器、手洗器、洗面器等の合 計数とする。

統計単価によりがたい場合は次による。

(1)~(2) (略)

 $3 \sim 5$ (略)

別表 統計数量表

第2 土工(基礎)関係

土工(基礎)関係統計数量表

表(5)~(7) (略)

表(8)

										21	(0)
樟	善 造	軽量鉄骨造(L	G S	造)							
\geq	分	肉厚4㎜未満の	€ O.)							
階				専	用	共	回	店舗・	工場・		
	工種	単 位								車	庫
層	·			住	宅	住	宅	事務所	倉 庫		
	根切	1 階床面積	m³	0.	48	0.4	8	0.47	0.40	0.	40
	砂利 · 割石敷	IJ	m³	0.	081	0.0	81	0.081	0.094	0.	094
1	捨コンクリート	<i>II</i>	m³	0.	020	0.0	20	0.018	0.015	0.	015
	基礎コンクリート	II	m³	0.	120	0.1	20	0.110	0.102	0.	102
	型枠	基礎コンクリート	m²	8.	90	8.9	00	7. 75	6. 75	4.	91
	鉄筋	<i>II</i>	t	0.	121	0. 12	21	0.116	0. 114	0. 1	14
	根切	1 階床面積	m³	0.	58	0.5	8	0.56	0.48	_	
	砂利・割石敷	11	m³	0.	097	0.0	97	0.097	0.113		
2	捨コンクリート	11	m³	0.	024	0.0	24	0.022	0.018		
	基礎コンクリート	IJ	m³	0.	144	0.1	44	0.132	0.122		
	型枠	基礎コンクリート	m²	8.	46	8.4	6	7. 36	6. 41		
	鉄筋	IJ	t	0.	121	0.1	21	0.116	0.114		
	根切	1 階床面積	m³	0.	72	0.7	2	0.71	_	_	_
	砂利 • 割石敷	IJ	m³	0.	122	0.1	22	0.122	[
3	捨コンクリート	IJ	m³	0.	030	0.0	30	0.027			
	基礎コンクリート	IJ	m³	0.	180	0.1	80	0. 165			
	型枠	基礎コンクリート	m²	7.	57	7.5	7	6. 59			
	鉄 筋	IJ	t	0.	121	0.1	21	0.116			-

桿	造	軽量鉄骨造(L	G S	造)				
×	<u>分</u>	鉄鋼系プレハブ工法						
階				専 用	共 同			
	工種	単 位						
層				住 宅	住 宅			
	根切	1階床面積	m³	0.48	0.48			
	砂利・割石敷	<u> 11 </u>	m³	0.081	0.081			
1	捨コンクリート	<u>"</u>	m³	0.020	0.020			
	基礎コンクリート	<u> 11</u>	m³	0.120	0. 120			
	型枠	基礎コンクリート	m²	8. 90	8. 90			
	鉄筋	<u> 11 </u>	t	0.121	0. 121			
	根 切	1階床面積	m³	0. 58	0. 58			

別表 統計数量表

第2 土工(基礎)関係

土工(基礎)関係統計数量表

表(5)~(7) (略)

表(8)

										-	12 (
樟	造 造	軽量鉄骨造(L	G S	造)							
\triangleright	分	肉厚4㎜未満の	ŧ 0.)							
階				専	用	共	同	店舗・	工場・		
	工種	単 位								車	車
層				住	宅	住	宅	事務所	倉 庫		
	根切	1 階床面積	m³	0.	48	0.	48	0.47	0.40	0.40)
	砂利 · 割石敷	IJ	m³	0.	081	0.	081	0.081	0.094	0.09) 4
1	捨コンクリート	IJ	m³	0.	020	0.	020	0.018	0.015	0.01	15
	基礎コンクリート	IJ	m³	0.	120	0.	120	0.110	0.102	0.10)2
	型枠	基礎コンクリート	m²	8.	90	8.	90	7. 75	6. 75	4. 91	1
	鉄 筋	"	t	0.	121	0. 1	21	0.116	0. 114	0. 114	1
	根切	1 階床面積	m³	0.	58	0.	58	0.56	0.48	_	
	砂利 · 割石敷	<i>II</i>	m³	0.	097	0.	097	0.097	0.113	_	
2	捨コンクリート	"	m³	0.	024	0.	024	0.022	0.018		
	基礎コンクリート	"	m³	0.	144	0.	144	0. 132	0. 122		
	型枠	基礎コンクリート	m²	8.	46	8.	46	7. 36	6.41		
	鉄 筋	"	t	0.	121	0.	121	0.116	0.114		
	根切	1 階床面積	m³	0.	72	0.	72	0.71	_	_	
	砂利・割石敷	"	m³	0.	122	0.	122	0. 122	l —	l —	
3	捨コンクリート	"	m³		030	0.	030	0.027	l —	l —	
	基礎コンクリート	JJ	m³		180		180	0.165	l —	l	
		基礎コンクリート	m²		57	7.		6. 59	l		
	鉄 筋	"	t		121		121	0. 116	l		

(新設)

	砂利 · 割石敷	<u> </u>	m³	0.097	0.097
2	捨コンクリート	<u> 11 </u>	m³	0.024	0.024
	基礎コンクリート	<u> 11 </u>	m³	0.144	0.144
	型枠	基礎コンクリート	m^2	8.46	8.46
	鉄 筋	<u>"</u>	t	0.121	0.121
	根切	1 階床面積	m³	0.72	0.72
	砂利・割石敷	<u> 11</u>	m³	0.122	0.122
3	捨コンクリート	<u> </u>	m³	0.030	0.030
	基礎コンクリート	<u> </u>	m³	0.180	0.180
	型枠	基礎コンクリート	\underline{m}^2	7. 57	7. 57
	鉄 筋	<u>!!</u>	t	0.121	0. 121

表(9) (略)

第4 く体鉄骨量関係

く体鉄骨量関係統計数量表

表(14)~(15) (略)

表(16)

構造	<u> </u>	軽量鉄骨造(LG	S造)			
区分	}	肉厚4㎜未満のも	0			
用	階		延	床	面	積
		平均階高		100㎡以上	200㎡以上	
途	層		100㎡未満	200㎡未満	300㎡未満	300㎡以上
		3m未満	33kg	$33 \mathrm{kg}$	33kg	33kg
専	1	3m以上 4m未満	35	35	35	35
		4m以上	36	36	36	36
用		3m未満	34	34	34	34
	2	3m以上 4m未満	36	36	36	36
住		4m以上	37	37	37	37
		3m未満	35	35	35	35
宅	3	3m以上 4m未満	37	37	37	37
		4m以上	38	38	38	38
		3m未満	33	33	33	33
共	1	3m以上 4m未満	35	35	35	35
		4m以上	36	36	36	36
同		3m未満	34	34	34	34
	2	3m以上 4m未満	36	36	36	36

表(9) (略)

第4 く体鉄骨量関係

く体鉄骨量関係統計数量表

表(14)~(15) (略)

表(16)

構造	Ē	軽量鉄骨造(LG	S造)			
区分	}	肉厚4㎜未満のも	, O)			
ш	7Hz		延	床	面	積
用	階	平均階高		100㎡以上	200㎡以上	
途	層		100㎡未満	200 m²未満	300㎡未満	300㎡以上
		3m未満	33kg	33kg	33kg	33 kg
専	1	3m以上 4m未満	35	35	35	35
		4m以上	36	36	36	36
用		3m未満	34	34	34	34
	2	3m以上 4m未満	36	36	36	36
住		4m以上	37	37	37	37
		3m未満	35	35	35	35
宅	3	3m以上 4m未満	37	37	37	37
		4m以上	38	38	38	38
		3m未満	33	33	33	33
共	1	3m以上 4m未満	35	35	35	35
		4m以上	36	36	36	36
司	ĺ	3m未満	34	34	34	34
	2	3m以上 4m未満	36	36	36	36

住	1	4m以上	37	37	37	37
		3m未満	35	35	35	35
宅	3	3m以上 4m未満	37	37	37	37
		4m以上	38	38	38	38
		3m未満	34	34	34	34
		3m以上 4m未満	35	35	35	35
	1					
		4m以上 5m未満	36	36	36	36
		5m以上	38	38	38	38
店		3m未満	35	35	35	35
		3m以上 4m未満	36	36	36	36
	2					
		4m以上 5m未満	37	37	37	37
舗		5m以上	39	39	39	39
		3m未満	36	36	36	36
		3m以上 4m未満	37	37	37	37
	3					
		4m以上 5m未満	38	38	38	38
		5m以上	40	40	40	40

住	1	4m以上	37	37	37	37
		3m未満	35	35	35	35
宅	3	3m以上 4m未満	37	37	37	37
		4m以上	38	38	38	38
		3m未満	34	34	34	34
		3m以上 4m未満	35	35	35	35
	1					
		4m以上 5m未満	36	36	36	36
		5m以上	38	38	38	38
店		3m未満	35	35	35	35
		3m以上 4m未満	36	36	36	36
	2					
		4m以上 5m未満	37	37	37	37
舗		5m以上	39	39	39	39
		3m未満	36	36	36	36
		3m以上 4m未満	37	37	37	37
	3					
		4m以上 5m未満	38	38	38	38
		5m以上	40	40	40	40

ш	r/Hz		延	床	面	積		I/Hz		延	床	面	積
用	階	平均階高	100 2+ >#	100㎡以上	200㎡以上	300㎡以上	用	階層	平均階高	100 ² +	100㎡以上	200㎡以上	300㎡以上
途	層		100㎡未満	200 m²未満	300㎡未満			100㎡未満	200 ㎡未満	300㎡未満	300 III X L		
		3m未満	36kg	36kg	36kg	36kg			3m未満	36kg	36kg	36kg	36kg
		3m以上 4m未満	38	38	38	38			3m以上 4m未満	38	38	38	38
	1	4m以上 5m未満	39	39	39	39		1	4m以上 5m未満	39	39	39	39
		5m以上	41	41	41	41			5m以上	41	41	41	41
事		3m未満	37	37	37	37	事		3m未満	37	37	37	37
₹/5		3m以上 4m未満	39	39	39	39	₹ <i>h</i> r	0	3m以上 4m未満	39	39	39	39
務	2	4m以上 5m未満	40	40	40	40	務	2	4m以上 5m未満	40	40	40	40
所		5m以上	42	42	42	42	所		5m以上	42	42	42	42
		3m未満	39	39	39	39			3m未満	39	39	39	39
	3	3m以上 4m未満	40	40	40	40		9	3m以上 4m未満	40	40	40	40
	3	4m以上 5m未満	42	42	42	42		3	4m以上 5m未満	42	42	42	42
		5m以上	43	43	43	43			5m以上	43	43	43	43
		3m未満	32	31	30	29			3m未満	32	31	30	29
		3m以上 4m未満	34	33	32	31			3m以上 4m未満	34	33	32	31

m	rr lab		延	床	面	積
用	階	平均階高		100㎡以上	200㎡以上	
途	層		100㎡未満	200㎡未満	300㎡未満	300㎡以上
		3m未満	36kg	36kg	36kg	36kg
	1	3m以上 4m未満	38	38	38	38
	1	4m以上 5m未満	39	39	39	39
		5m以上	41	41	41	41
事		3m未満	37	37	37	37
務	2	3m以上 4m未満	39	39	39	39
19 5	4	4m以上 5m未満	40	40	40	40
所		5m以上	42	42	42	42
		3m未満	39	39	39	39
	3	3m以上 4m未満	40	40	40	40
	3	4m以上 5m未満	42	42	42	42
		5m以上	43	43	43	43
		3m未満	32	31	30	29
		3m以上 4m未満	34	33	32	31

ĺ	1			 	4	
工		4m以上 5m未満	36	34	33	32
		5m以上	37	36	35	34
		3m未満	33	32	31	30
場		3m以上 4m未満	35	34	33	32
	2	4m以上 5m未満	37	35	34	33
		5m以上	38	37	36	35
		3m未満	31	30	29	28
		3m以上 4m未満	33	32	31	30
	1					
倉		4m以上 5m未満	35	33	32	31
		5m以上	36	35	34	33
		3m未満	32	31	30	29
庫		3m以上 4m未満	34	33	32	31
	2					
		4m以上 5m未満	36	34	33	32
		5m以上	37	36	35	34
車		3m未満	30	29	28	27
	1	3m以上 4m未満	32	31	30	29
庫		4m以上 5m未満	34	32	31	30

構造	<u>i</u>	軽量鉄骨造(LG	· S 造)_									
区分	<u> </u>	鉄鋼系プレハブ工法										
Ш	7Hz		延	床	面	積						
<u>用</u>	<u>階</u>	平均階高	9 1 1 1	<u>100㎡以上</u>	<u>200㎡以上</u>	201						
<u>途</u>	<u>層</u>		<u>100㎡未満</u>	<u>200㎡未満</u>	300㎡未満	300㎡以上						
		3m未満	<u>33kg</u>	<u>33kg</u>	<u>33kg</u>	33kg						
<u>専</u>	1	3m以上 4m未満	<u>35</u>	<u>35</u>	<u>35</u>	<u>35</u>						
<u>用</u>		4m以上 3m未満	36 34	36 34	36 34	36 34						
<u>/Tl</u>	2	3m以上 4m未満	<u>36</u>	<u>36</u>	<u>36</u>	<u>36</u>						
<u>住</u>	=	4m以上	<u>37</u>	<u>37</u>	<u>37</u>	<u>37</u>						
		3m未満	<u>35</u>	<u>35</u>	<u>35</u>	<u>35</u>						
<u>宅</u>	<u>3</u>	3m以上 4m未満	<u>37</u>	<u>37</u>	<u>37</u>	<u>37</u>						
		<u>4m以上</u>	<u>38</u>	<u>38</u>	<u>38</u>	<u>38</u>						
		3 <u>m未満</u>	$33 \mathrm{kg}$	33kg	$33 \mathrm{kg}$	33kg						

1		1		ı	ī	1 1
	1					†
工		4m以上 5m未満	36	34	33	32
		5m以上	37	36	35	34
		3m未満	33	32	31	30
場		3m以上 4m未満	35	34	33	32
	2				-	
		4m以上 5m未満	37	35	34	33
		5m以上	38	37	36	35
		3m未満	31	30	29	28
		3m以上 4m未満	33	32	31	30
	1				-	
倉		4m以上 5m未満	35	33	32	31
		5m以上	36	35	34	33
		3m未満	32	31	30	29
庫		3m以上 4m未満	34	33	32	31
	2					
		4m以上 5m未満	36	34	33	32
		5m以上	37	36	35	34
車		3m未満	30	29	28	27
	1	3m以上 4m未満	32	31	30	29
庫		4m以上 5m未満	34	32	31	30

(新設)

<u>共</u>	1	3m以上 4m未満	35	35	35	<u>35</u>
		<u>4m以上</u>	<u>36</u>	<u>36</u>	<u>36</u>	<u>36</u>
可		3m未満	34	34	34	34
	2	3m以上 4m未満	<u>36</u>	<u>36</u>	<u>36</u>	<u>3</u> 6
<u>住</u>		<u>4m以上</u>	<u>37</u>	<u>37</u>	<u>37</u>	<u>37</u>
		3m未満	35	35	<u>35</u>	35
<u>宅</u>	3	3m以上 4m未満	<u>37</u>	<u>37</u>	<u>37</u>	<u>37</u>
		<u>4m以上</u>	<u>38</u>	<u>38</u>	<u>38</u>	<u>38</u>

第5 その他

直接仮設関係統計数量表

軽量鉄骨造及び鉄鋼系プレハブ工法(軽量鉄骨造)の専用住宅又は共同住宅の仮設工事面積は、 次の方法により算出するものとする。

仮設工事面積 = 延床面積 × 規模補正率 × 建物形状補正率

① 規模補正率は、次表の延床面積の区分に対応した率とする。

表(17)

区	分	I	П	Ш	IV	V	VI	VII
延面	床積	50 m²未満	50 m²以上 70 m²未満			130 m²以上 180 m²未満	180 m²以上 250 m²未満	
補工	E率	1. 15	1. 10	1. 05	1. 00	0. 90	0.85	0.75

② 建物形状補正率は、次表の建物形状(1階の外壁の面数)に対応した率とする。

表(18)

建物の形状	I	П	Ш
判断基準	外壁面が6面以下の建物	外壁面が7面以上10面以下の建物	外壁面が11面以上の建物
補 正 率	1.00	1. 10	1.20

別添3 非木造建物工事内訳明細書式

(工事費の構成)

2 工事費は、通常次のとおり構成され、種目別、科目別及び細目別の段階がある。工事内訳明細 2 工事費は、通常次のとおり構成され、種目別、科目別及び細目別の段階がある。工事内訳明細 書は、工事費の内容と金額を示すものであり、その記載要領は7に規定するものとする。

(新設)

(新設)

(新設)

(新設)

(新設)

(新設)

(新設)

(新設)

別添3 非木造建物工事内訳明細書式

(工事費の構成)

書は、工事費の内容と金額を示すものであり、その記載要領は8に規定するものとする。

内訳明糾	細書											丁車巾	訳明細書												
表	74 E											総括表													
			工	事内訴	明 細	書											工事	内 訳	明 細 書 <u>表</u>	*					
				事 内 訴 総 招	表				<u>令和</u>	年 月	B						并	括	表	_			<u>平成</u>	年 月	B
			殿													厕	TL 27								
						受注者住所	ī										_		· ·	注者住所					
							び代表者名														5代表者名。				_
	別紙のとおり積算いた	しました。												とおり積算いたし	ました。										
-	等の所有者							備。	ts.		_		建物等の所	* *								備考			_
所	在 地造 用途							100	9				産物等の所 所 在 構 造 用	地								186 -			
規	集 工 法 模												(新 設 規	模											
	転 工 法 算 概 要							/ N. N de					積 算 概 翌	法											
194 99	9P 1M 3C								容 単価につい ^発 生材につい				18 34 18 3										容 (価につい (生材につ)		
- 1																						. 25	計の有効	期間	
								- ii	役計の有効: 解体の方法	期間	ion or											 解 	『体の方法		
								- ii	设計の有効!	期間	概要											 解 	『体の方法	についての	概要
 工程表								- ii	役計の有効: 解体の方法	期間	概要	工事〕										 解 	『体の方法	についての:	概要
工程表			I	事	Г. Я	呈 3	表 表	- ii	役計の有効: 解体の方法 その他積算!	期間		工事コ	程表			ı	事	: 1	. 程	: ā		 解 	¥体の方法 の他積算	についての:	
		в		事 -				- 資 - 月 - 日	役計の有効: 解体の方法算: 合和	期間 についての 年 月	В	工事コ			В							• fi	学体の方法: の他積算: ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	についての:	В
工程表	称	H 10 20	<u>T</u> .					- 資 - 月 - 日	役計の有効: 解体の方法算: 合和	期間 についての 年 月		工事]	工事名称		FI 10				. 程			• fi	学体の方法: の他積算: ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	についての:	
	粹	E 10 20						- 資 - 月 - 日	役計の有効: 解体の方法算: 合和	期間 についての 年 月	В	工事コ			FI 10							• fi	学体の方法: の他積算: ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	についての:	В
	称	E 10 20						- 資 - 月 - 日	役計の有効: 解体の方法算: 合和	期間 についての 年 月	В	工事コ			FI 10							• fi	学体の方法: の他積算: ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	についての:	В
	称	FI 10 20						- 資 - 月 - 日	役計の有効: 解体の方法算: 合和	期間 についての 年 月	В	工事]			日 10							• fi	学体の方法: の他積算: ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	についての:	В
	称	F 10 20						- 資 - 月 - 日	役計の有効: 解体の方法算: 合和	期間 についての 年 月	В	工事コ			日 10							• fi	学体の方法: の他積算: ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	についての:	В
	称	E 10 20						- 資 - 月 - 日	役計の有効: 解体の方法算: 合和	期間 についての 年 月	В	工事コ			日 10							• fi	学体の方法: の他積算: ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	についての:	В
	称	H 10 20						- 資 - 月 - 日	役計の有効: 解体の方法算: 合和	期間 についての 年 月	В	工事]			П 10							• fi	学体の方法: の他積算: ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	についての:	В
	称	FI 10 20						- 資 - 月 - 日	役計の有効: 解体の方法算: 合和	期間 についての 年 月	В	工事コ			B 10							• fi	学体の方法: の他積算: ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	についての:	В
	称	E 10 20						- 資 - 月 - 日	役計の有効: 解体の方法算: 合和	期間 についての 年 月	В	工事コ			B 10							• fi	学体の方法: の他積算: ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	についての:	В
	称	B 10 20						- 資 - 月 - 日	役計の有効: 解体の方法算: 合和	期間 についての 年 月	В	工事コ			H 10							• fi	学体の方法: の他積算: ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	についての:	В